

第58回 水道週間

児童生徒作品展
入賞作品集

会津若松市水道部

第58回水道週間児童生徒作品展入賞作品集

【図画の部】

・ 小学校低学年	市長賞・議長賞・教育長賞・理事長賞・管理者賞	1
・ 小学校高学年	市長賞・議長賞・教育長賞・理事長賞・管理者賞	4
・ 中学校	市長賞・議長賞・教育長賞・理事長賞・管理者賞	7

【書写の部】

・ 小学校低学年	市長賞・議長賞・教育長賞・理事長賞・管理者賞	10
・ 小学校高学年	市長賞・議長賞・教育長賞・理事長賞・管理者賞	11
・ 中学校	市長賞・議長賞・教育長賞・理事長賞・管理者賞	13

【標語の部】

・ 小学校低学年	市長賞・議長賞・教育長賞・理事長賞・管理者賞	15
・ 小学校高学年	市長賞・議長賞・教育長賞・理事長賞・管理者賞	16
・ 中学校	市長賞・議長賞・教育長賞・理事長賞・管理者賞	17

【作文の部】

・ 小学校低学年	議長賞・教育長賞	18
・ 小学校高学年	市長賞・議長賞・教育長賞・理事長賞・管理者賞	21
・ 中学校	市長賞・議長賞・管理者賞	31

【図画の部】

〈小学校低学年〉



〔市長賞〕 会津若松市立湊小学校 3年 佐藤 杏



〔議長賞〕 会津若松ザベリオ学園小学校 3年 金澤 まひる



〔教育長賞〕 会津若松市立鶴城小学校 3年 山本 真紀



〔理事長賞〕 会津若松市立湊小学校 2年 寺木 愛華



〔管理者賞〕 会津若松市立東山小学校 1年 井波 茜

審査講評

日頃、何の気なしに飲んだり、食事と一緒にとったりしている水について「絵にかいてみよう」と動機が与えられて、改めて思い出をたどってみたり、考えたりしている様子がよくわかりました。

水との関わりで楽しかったこと、嬉しかったことを中心に色や形ではっきりと表している作品が目立ち、思わずほ笑んでしまうものもありました。きっと、水への思いや関わりはもっともっとたくさんあるでしょう。友達のまねをしないで「自分の思い」をどんどん描いてほしいと思います。

線でかくときも、フェルトペンやわりばしペンに限らず、いろんなもので描いてみましょう。色も水彩絵の具だけでなく、いろんなものでつけてみるのもよいことです。そうすると新しい美しさに気付いたり、今までより一層考えも深まっていき、心が豊かになると思います。

〈小学校高学年〉



〔市長賞〕 会津若松市立湊小学校 6年 小坂 真人



〔議長賞〕 会津若松市立謹教小学校 6年 鈴木 心渚



〔教育長賞〕 会津若松市立城北小学校 6年 平 瑠梨



〔理事長賞〕 会津若松市立城北小学校 4年 鈴木 麻琴



〔管理者賞〕 会津若松市立門田小学校 6年 亀井 果歩

■ 審査講評

水と自分との関わりをよく考え、表し方を工夫した作品が多く素晴らしかったです。水が私たちの生活には欠かせない大切なものであるという思いが伝わってきました。

特に市長賞に輝いた6年生の小坂さんの作品からは、自分の水に対する思いや喜びが感じられました。水は人や生き物たちの命をつなぎ、生活を豊かなものに行っているという思いが、画面構成を工夫し、表現技法を効果的に使った見事に表現した素晴らしい作品です。

その他の入賞した作品も、思いを自分らしく工夫されていて、楽しく見ることができました。見る人の心に訴え、温かい気持ちにさせる作品がとても印象的でした。

〈中学校〉



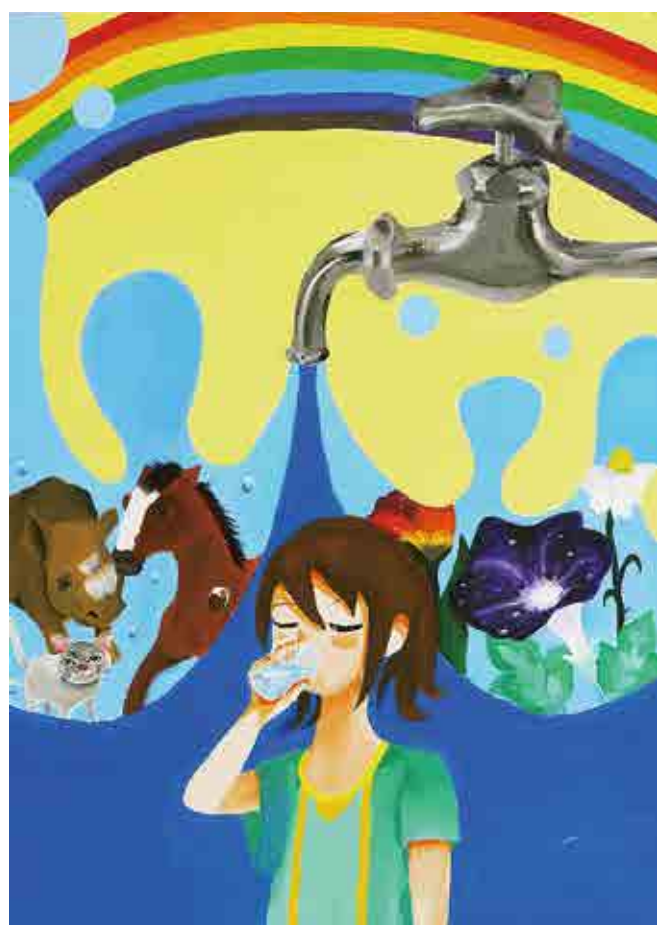
〔市長賞〕 会津若松市立第三中学校 3年 八角 若葉



〔議長賞〕 会津若松市立第三中学校 3年 小池 優花



〔教育長賞〕 会津若松市立第三中学校 3年 山本 有紗



〔理事長賞〕 福島県立会津学鳳中学校 2年 長谷川 藍



〔管理者賞〕 会津若松市立第一中学校 2年 東條 光帆

■ 審査講評

中学生の作品には、自分たちの生活経験の中から水との関わりが上手に表現された作品が多くありました。作品から水の大切さはもちろんのこと、社会や環境、生命尊重などのテーマ性を追求した作品が多く、水に対する個々の強い思いを感じさせられました。

彩色も美しく丁寧に仕上げられており、中学生の作品のレベルの高さに驚きました。

入選された作品は、時間をかけ、じっくりと描いてあります。自分が感じた水の大切さや美しさを表現しようという気持ちを大事にしてほしいと思います。

【書写の部】

〈小学校低学年〉



〔議長賞〕

会津若松市立荒館小学校
2年 菅井 惇平



〔市長賞〕

会津若松市立行仁小学校
3年 杉本 舞



〔理事長賞〕

湯川村立笈川小学校
3年 谷ヶ城 奏



〔教育長賞〕

会津若松市立大戸小学校
3年 山田 絵里加

■ 審査講評

紙面に対する文字の大きさが工夫されている作品が多くありました。「す」のはらいが紙面内に収めるのに苦労している作品がみられました。

「み」、「す」ともに「結び」の練習が必要です。

上位の作品は本文だけでなく、「なまえ」もしっかり書けていて、作品全体に調和がとれているものが多くみられました。

墨液を水で薄めすぎて、文字の輪郭が緩んでしまっている作品があり、注意が必要です。

全体的に書写のレベルが高くなっていること、出品点数が増加しつつあることは、各学校の協力と指導の向上がうかがわれ、大変喜ばしいことだと思います。



〔管理者賞〕

会津若松市立鶴城小学校
3年 山本 実紀

〈小学校高学年〉



〔議長賞〕

会津若松市立一箕小学校
6年 三富 彩千香



〔市長賞〕

会津若松市立行仁小学校
6年 星 晴夏



〔理事長賞〕

会津若松市立謹教小学校
6年 栗城 心



〔教育長賞〕

会津若松市立行仁小学校
5年 目黒 裕那

■ 審査講評

一画一画、丁寧に書かれた作品が多く「止め」、「はね」、「はらい」等がしっかりと書かれていました。

画数が多いため、横画の間をそろえることや、縦画と横画のバランスを整えることが難しい課題でしたが、上位の作品はよく練習され整っていました。

学校名や学年、名前の文字が課題の字より見劣りする作品が多かったため、名前までしっかりと練習が必要です。



〔管理者賞〕

会津若松市立鶴城小学校
6年 姜 咲那

〈中学校〉



〔議長賞〕

会津若松市立第一中学校
2年 星 清夏



〔市長賞〕

会津若松市立第五中学校
3年 佐藤 日奈子



〔理事長賞〕

福島県立会津学鳳中学校
3年 小池 妃世莉



〔教育長賞〕

会津若松市立一箕中学校
3年 田村 彩香



〔管理者賞〕

会津若松市立第一中学校
2年 佐藤 大輝

■ 審査講評

行書での四字の課題ということで難しかったと思います。行書を始めたばかりの1年生もたくさん参加してくれました。2、3年生は行書に慣れて素晴らしい作品が多かったです。行書の筆遣いはもちろん、縦に並んだ二字の中心がそろっており、縦画や横画の間のバランスが整っている作品が特別賞へ入賞しました。

作品と氏名が重なってしまう点、行書と楷書の混ざってしまう点、実線と連続する線の区別がつかなくなってしまう点に気を付けると、よりよい作品になります。

【標語の部】

〈小学校低学年〉

〔市長賞〕

会津若松市立門田小学校 一年 亀井 椋太

門田小

学校 一年

氏名 亀井 椋太

みずのめばこころはなまるといじゅうまる

〔議長賞〕

会津若松市立城北小学校 三年 長谷川 奈々

会津若松市立城北小学校 三年

氏名 長谷川 奈々

ゴクゴクゴク
元気がパワーが
スイッチオン

〔教育長賞〕

会津若松市立大戸小学校 一年 三坂 恵里菜

大戸小

学校 一年

氏名 三坂 恵里菜

なごころなれみずとたくけん
おそびたい

〔理事長賞〕

会津若松市立河東学園小学校 三年 武田 莉音

会津若松市立河東学園小学校 三年

氏名 武田 莉音

だしすぎストップ。
地をうににあわせやってくる。

〔管理者賞〕

会津若松市立城南小学校 三年 山宮 心暖

城南小

学校 三年

氏名 山宮 心暖

おいしいね
え顔ひろがる
水道水

■審査講評

水の大切さを子供たちは考えていて、自然やご家族からの教えもあり、やさしい言葉で表していて、日常生活の大切さも感じられました。

震災からの生活の変化も感じたのでしょうか、水に対する大切さも身をもって体験したそんな作品もあり、好感が持てました。

生活の中での無駄をなくそうという努力をしていかなければという作品も多かったように思います。

〈小学校高学年〉

〔市長賞〕

会津若松市立行仁小学校 六年 平山 裕翔

行仁小

学校 六年

氏名 平山裕翔

この一滴
未来のぼくも
使う水

〔議長賞〕

会津若松市立河東学園小学校 五年 長谷川 心音

福島県立河東学園小学校 五年

氏名 長谷川心音

健やかな
くらしにいつも
水道水

〔教育長賞〕

会津若松市立一箕小学校 六年 角田 菜々美

一箕小 学校 六年

氏名 角田 菜々美

節約は
地球のための
努力の結晶

〔理事長賞〕

会津若松市立門田小学校 六年 亀井 果歩

門田小 学校 六年

氏名 亀井 果歩

守り抜け 光る未来の水資源

〔管理者賞〕

会津若松市立永和小学校 五年 江川 里咲

永和小

学校 五年

氏名 江川里咲

ひとしずく
命にかかわる
水のおとさ

■審査講評

たくさんのお作品の中で、きらり光る作品を見つけたとき、水への感謝や未来への思いを広げるところに着目しました。

子供の素直な言葉で五・七・五のリズムに気をつけた作品は素晴らしいかったです。水に対する意識の高まりが感じられました。一つの作品として仕上げることを考えると、字の大きさや形にも気をつけて、丁寧に書いていただきたいと思います。

〈中学校〉

〔市長賞〕

福島県立会津学鳳中学校 三年 林 瞳美

会津学鳳中 三年

氏名 林 瞳美

できますか

水道のない

生活を

〔議長賞〕

会津若松市立第三中学校 一年 山本 朱里

会津若松市立第三中 一年

氏名 山本 朱里

竹節水で
明るくてらそう
水の未来

〔教育長賞〕

大熊町立大熊中学校 三年 海老根 桜子

大熊町立大熊中 三年

氏名 海老根 桜子

無駄な水
あなただの意識で
減っていく

〔理事長賞〕

会津若松市立第三中学校 一年 佐竹 愛葉

会津若松市立第三中 一年

氏名 佐竹 愛葉

思いやり
一滴の水から
つながる手

〔管理者賞〕

会津若松市立第二中学校 一年 歌川 さくら

福島県会津若松市立第二中 一年

氏名 歌川 さくら

はいお水！その日常を永遠に

■審査講評

小学生とは違った角度から見た作品があり、特に市長賞の「できますか水道のない生活を」は素直に自分の言葉で表現されていて感動しました。

これからも人まねでなく、自分の言葉で感じたことを書き、そして大切な水のことに感心を持っていただきたいと思います。

【作文の部】

〈小学校低学年〉

〔議長賞〕

会津若松市立小金井小学校 三年 二瓶 咲彩

大切な水
小金井小学校 三年 二瓶 咲彩
わたしは、毎日当たり前のように水をつか
っています。朝から顔をあらい、はをみがき
トイレで水をながす、毎日は、かかせない
です。
わたしは、家でお姉ちゃんとお父さんとお
茶わんあらいのお手つたいをしています。わ
たしが、あらいものをしていて水をたくさん
出しているとおかあさんは、
「水少し出しすぎだよ。もったいないよ。」
と、言います。わたしは、心の中で、
「べっぴんに水くらい、いいじゃん。」
と、思っていました。わたしの中で水はいつ
もある物、じゃ口をひねればいくらでも出
きてなくなる物ではないと思っ
てすごしていました。
ついさいきん、くま本けんで地しんがあり
テレビを見ていると、ニュースで
「水がとにかたりません。」

と、言っているのを見ました。水が地しんに
よって出なくなり、たくさんの方がごま
ているようすを見て、水がなかつたらと、考え
てみました。トイレも、のむ水も、おふるも
せんたくも、毎日のあたり前のことが、ま
たくできなくなるんだと思ったら、すごく大
へんで、水は生活する上で、せつたいにかか
せない物なんだと、あらためて思いました。
川の水、海の水、のむ水、また水は、東日
本大しんさいのように、時には、大へんな、
さいがいをもたらし、こともあります。水は、
こわいものでもありますが、わたしたちにと
って大せつな物でもあります。
ニまた水は、人間だけではなく動物や、しょ
く物にもかかせない物です。
今のわたしにできることは、なんだろう？
と、考えた時ふだんから水をせつやくして、
シャワーや、はみがきなどをする時は、出し
はなしにしないようにべがけ、水を大せつに
つかい、今どは、わたしが妹や小さい子たち

に、「水は大せつにつかうんだよ」と、教え
ていこうと思いました。

〔教育長賞〕 会津若松ザベリオ学園小学校 二年 穴澤 龍之助

くま本のじしんでおもったこと
あいづちのかまつザベリオ学えん小学校
二年 あなざわ りゅうのすけ
ぼくは、くま本で大きないしんがおきて、
大へんなことをテレビでしました。いまで
もいなんじよで、ふべんな生活をしている人
がたくさんいます。どううが、でこほこにな
って、いって、車もとねないいじょうたいです。
くま本いじょうち、かわらかくおれていて、な
おすにもいじかんがつかかりそうです。水どうか
ら水が出ないぢいさきがあり、おき水をくみに
行くようすがうつし出されていきました。ミル
クがひつようなあからや、足こしをいた
わて、いるおとしよりがたくさんいます。まえ
のひがし日本大しんさいでも、水が出なかつ
たそうです。水をもらうのに行先をつくつ
たともさきまじだ。生きていくのには、水は
とてもじょうようです。せんたく、そうじ、
りょうり、おふる、はみがき、トイレ、水あ
そび、手あらい、しよっさあらい、まだまだ

いっばいあります。

ぼくは、学校のラグビーチームに入っています。なんしゅうでは、はじめてお世をたくさんかきます。休けいのおきにおつめたい水は、かくべつなおいしです。じゃ口をひねればすぐい水がでるあたりまえの生活でありがたくおもいます。これからはおふろのおきにシャワーを出しっぱなしにしない、うがいをするときは、コップに水を入れすぎない、トイレの水も一かいでなからようにして水を大せつにしたことおもいます。

ぼくの学校では、まいしゅうしけんがしゅうをして、たまつたお金でくま本に水やたべものをおくろうとしていきます。ひかし日本大しんさいのおきに、せんこくから水やたべものやようふくをもらいました。だからこれなどは、くま本におかえしをしたのです。

早く、くま本の人たちがいぶんのいえにも

とって、あたたかきりょうをつくって、あ

ただかにおふろに入る元の生活にもどれるよ

うにいのっています。

ぼくも、すこしはきょううかできるようなおこづかいがわり、くま本にば金したり、水やちのを大せつにしたことおもいます。

審査講評

熊本地震の映像を見ての感想や、自分の生活と水との関わりの深さを素直に表現することができていました。

家族とのふれあいの中で学んだことやその感想をきちんと表現できていました。自分なりの疑問や考えを少し多めに入れるとよりよい作品になると思います。

低学年であつても、学習した漢字を使い、規定の字数を満たして書くよう指導してほしいと思います。

〈小学校高学年〉

〔市長賞〕

会津若松市立行仁小学校 六年 星 光稀

「水に支えられた生活	行仁小 六年 星 光稀	「大変だよ。水道から水がチョロチョロしか出ないよ。」弟が叫んだ。今年の二月、近所	下水道管の思いもよらない事故がおきた。「水が出るうちにバケツにくんでおこうか。」母	やじいちゃんがあわてていた。私は、「水道がでなくなったら、一日くらい水が飲めなくなるだけですよ。平気だよ。」と言った。「	何いっているの。水が出なくなったら、夜ご飯の準備もお風呂もトイレもできなくなるんだよ。」と、母におこられた。私ははっとした	歯みがきも顔を洗うこともできなくなってしまった。明日の朝、飯のお米も炊けない。こんなにも「水」に支えられた生活をしているという	ことに気が付いた。急にこのまま水がでなくなったらどうなるのだろうかと不安になった。	まもなく、近所のスーパーに給水車が来る	ことが分かった。じいちゃんとスーパーに行
------------	-------------	--	---	--	---	---	---	---------------------	----------------------

き、給水車から二袋、水をもらって来た。私
はとてもほっとした。その時、給水車という
ものを直接初めて見た。そして、東日本大震
災の時、テレビや新聞で給水車が給水活動を
しているのをたくさん見たことを思い出した。
そんなことがあって、震災時被害の大きかっ
た仙台市の断水や給水活動のことを調べてみ
たくなった。

仙台市の半分、二十三万世帯が断水した。
そんな中で、一日約七十五台の給水車が出勤

し、給水活動を行った。あの、スーパーで見
た給水車は、自治体などで、災害協定を結ん
でいて、災害時に全国からすばやく駆けつけ、
水を供給してくれるのだと分かった。震災時
ミルクしか飲めない赤ちゃんや弱ったお年寄
りやどれだけの人々の命や生活が救われたか。
今年の三月、震災から五年たった仙台市へ
行った。仙台の水テルで、水道から水が普通
にでたとき、調べたことを思い出して、とて
もむねがあつくなった。

そんな折、熊本でも大きな地震がおきた。
断水は二十五万世帯にも及んだ。じゃ口をひ
ねつてもにぎった水しか出ない地域もあった。
全国各地から給水車が出勤していた。給水活
動をニュースで見ても、がんばって、被災し
た方々へ、水を届けてね」と祈った。ここ会
津若松市からも水などの物資が熊本へ届けら
れた。腎臓を患った透析患者が水不足で、苦
しんでいるということを報道していた。透析
をするには大量の水がいるらしい。水がなけ

れば、腎臓を患っている人々は、毒素を体か
ら抜けず命を落としてしまう。
これらの体験を通して、すべての生活が、
水に支えられていることに気付いた。水が
なければ、私たちは生活ができなくなつて、
混乱してしまう。だから、災害や事故が起き
たとき、水をすばやく供給できる仕組みが整
っていることがとても重要であり、ありがたく
思う。特に災害の多い日本ではなおさらだ。
まさに水は私たちの命綱だ。その水を供給す

るために日々努力している。浄水場をはじめと
 する多くの人々に感謝しながら、大切に水を
 使っている。こうと改めて思う。学校や家での節
 水や汚れた水を出しすぎないことはもちろん
 自分だけでなく、周囲にも積極的に大切に水
 を使うことを広めていこうと思う。学校で誰
 かがじゃ口を閉め忘れていたら率先して閉め
 ること。友達が歯みがき、手洗いする時など
 無駄使していたら注意すること。自分にで
 きることをがんばっていこうと思う。「水」

に支えられた生活だから、私も「水」を大切
 に支えていこうと思う。

〔議長賞〕

会津若松市立行仁小学校 四年 星 祐輝

みんなの元気はお水から
 行仁小四年 星 祐輝
 去年の夏休み、ぼくはいいちゃんとはあう
 んの住んでいる湊町へ遊びに行きた。田んぼ
 のわきに川が流れていて、小さな魚たちがた
 くさん泳いでいた。ぼくといいちゃんて川に
 入って魚をたくさんとった。とてもワクワク
 した。川の水がとてもすきとおって、いてきれ
 いだった。いいちゃんがまわりの田んぼや畑
 を見ながら、「湊の米や野菜は水がきれいだ

からおいしくできると」と教えてくれた。
 いいちゃんの家でとれるお米や野菜はとって
 もおいしい。夏にとれるトマトは特にみずみ
 ずしく、あまくて、大好きだ。きれいな水の
 パワーを感じた休んだ。

他にも水のパワーを感じたことがある。ぼ
 くは家で金魚を飼っている。毎週末、水をき
 るいにしてあげる。だから、とても長生きし
 ている。もう、五年以上元気に生きている。
 近所のそうじやさんがいた。とても

う明できれいな水が流れていて、町の中のそ
こで七生き物が生きていられるとびっくり
した。家の花だんにホウセンカを植えた。暑
い日に、ホウセンカがぐたりしておおいた。
ぼくは、あわててじょうろで水をあげた。そ
うしたら、ぐたりしていた花たちがツヤキ
と元気になつた。

ぼくも水からパワーをもらっている。ぼく
は、水泳が大好きでスイミングを習っている。
水のなかにスイスイ泳いでいると、魚にな

た気分だ。たくさん泳いで、その後で冷たい
水をゴクゴク飲むのがかくべつにおいしい。
運動しておなかかすいて、おいしい、おいしい
ん。家の米をたくさん食べる。だから、ぼく
はあまりかせをひかなくて、学校も休まない。
とても元気だ。

ぼく、川の魚、米、野菜、金魚、ガリが二
そして花だんの花も、みんなきれいな水があ
るから、元気でいられる。そして、ぼくたち
を元気にしてくれる水はどこからくるのだろ

うと不思議に思つて、図書館で調べてみた。
海などからじょうろした水は雲になつて、
雨になつて山などの森林にたろえられる。
そして地下水になつたり、川に流れたりする。
その一部が浄水場で、ごみや細さんを取りの
ぞき安全できれいな水になり、水道かんを通
て、ぼくたちの元へ届けられる。

だから、ぼくたちは森林などの自せんを大
切にして、川や湖をよごさないようにしなけ
ればならない。水を大切に使用ねければなら

ない。そのため、ツヤンブーヤせんを
使ひすぎないようにしよう。水を出しっぱな
しにして歯みがきをしないようにしよう。元
して、きれいな水がいつまでもあるように。
す。とみんなが元気いっばいの毎日をおくれ
るように。水はみんなにパワーをくれる、み
んなの元気はお水から。今日も、おいしい水

を飲んで、きれいな水からつくられるおいし
いごはんをたくさん食べて、元気いっばい生
活しよう。水を大切に使うことを忘れずた。

水を大切に使う先人の知恵

行仁小 五年 山田 那由

私の住む会津には、ずいぶん残っている美しい景色がたくさんあります。先日、家族で桜の花のきれいな所をさがしながら、南へ南へとドライブしました。たどりついた南会津の「前沢曲家集落」もそうです。ここは、少しだけ坂になつた土地に、曲家とよばれる音ながらのかやぶき屋根のし字型の家が十三けん集まっています。まるで昔にタイムスリップしたようでした。

その集落の入り口で、まず目についたのは水車でした。水車には、上のほうから太い木をくりぬいた水路がつながっていて、きれいな水がたくさん流れています。私は、その水の流れがおもしろかったのと、水がもったいないという気持ちが出て、何度も下まで水路をたどって水を追いかけては上へもどり、また追いかけてはもどりをくり返して、しばらく遊んでいました。なぜ、水がもったいな

いと思つたかというところ、とてきれいなもの、ただざらざらと流れているように思つたか、りです。まるで、水道のじゃ口をあげればなにしてしているように思つたからです。でも、あとになって、私の「もったいない」は、なるほど！」に変わりました。

集落を奥まで歩きました。真ん中には、水と水路がつながっていて、水が流れていました。一番奥の山の神社まで行くと、水があふれてあき出ているところ、たどり着きました。

水は、このさわから集落を流れて、館岩川へと流れていきます。集落内の水路には、とちの中に計七つの水場がありました。お風呂より少し小さいぐらいの箱のような物でした。私は水場の所で、何度も手を水につけたりしました。歩きまわって、ちよつと汗ばんだ手には、気持ちの良い温度でした。行つた時には、何も入っていませんでしたが、お母さんと、一夏になつたら、すいかを冷して食べたいね、と言つて笑いました。そして、冬になつて氷

かはったら、割って遊んでみたいのです。水場は、かつて水道がひかれる前は、上から飲み水、米とぎ水、洗たく、手仕事、オケ洗い、オシメ洗い、その他と決まっていたそうです。口にするものから、よごれのひどいものの洗たくまで、とても良く考えられたルールだと思いました。

帰りに、もう一度入り口の水車小屋によりました。すると、はじめは気づかなかつたけれど、水車小屋のとなりには、もうひとつ小屋がありました。『バツタリ小屋』と書いてありました。バツタリってすごく変な名前だなと思い、家に帰って調べてみました。『バツタリ』とは、すごく大きいスプーンのようなものに、ししおどしのように水をため、いっぱいになった時の反動でぎねを動かし、米やあわやひえなどをつく器具だそうです。私が行った時は、バツタリが動いていなくて、残念でした。水車もけっしてかざり物ではなく同じ働きをするものだということも知りまし

た。水は機械を動かす力にもなるすごいものだと知りました。

大地からいただいた大切な水。口に入れるものや洗いものやそうじなどの家事全体、さらには機械を動かす力まで、大切に使う。昔の人の知恵にはおどろかされました。けっして水道のじゃ口をあけっぱなしにしているのではなく、一てきたりともおだにしないよう工夫をした上での水の流れだったのです。

水の大切さは、昔も今も変わることはないのです。水路が水道に変わっても一てきたりともおだにするこのないよう、水を大切に使うていかなければならないと学びました。

〔理事長賞〕

会津若松市立小金井小学校 五年 二瓶 彩奈

災害の時の水の大切さ	小金井小学校	五年	二瓶	彩奈
私達が、生活する上でかかせない水、じゃ	口をひねれば当たり前のように出てくる水、	でもこの水が無くなったらとうなるんだらう	と、自分なりに考え、水について調べてみま	した。
つい最近、くま本県で大きな地震があり	ました。テレビで連日、大変な被害状況が	が流れていました。その中で、	「今、一番生活の中で、必要な物や、困って	いることは何ですか？」
と、言うアナウンサーの問いかけに、	「水が足りません。とにかく水を下さい。」	何でもいいです。飲み水や生活する上で必要	な水、少しでもいいので水をお願いします。	と、言っているのを見ました。水が、地しん
によつてとだえてしまったのです。地しん	災	生後、くま本県内では、約8万5千世帯が、	断水したようです。給水車でも、水が追いつ	

かず、給水を待つ人々が、列を作りならんで	いる様子をテレビで見ました。	このように、ふだん何気なく使っている水	が、手に入らなくなったら、私たちは、どう	すればよいのでしょうか。災害はまたいつとこ
で起きるか分かりません。私たちにできるこ	とは何だろうと考えてみました。	五年前の東日本大震災で、同じように水	が出なくなり、完全にふっきゅうするまでに	3ヶ月以上かかったそうです。その間に、ペ
ットボトル水は、スーパーや、コンビニから	すがたを、消してしまっただそうです。箱で買	いしめる人や、こう入せい限をする店など、	空っぽになった商品だの前では、「水をよ	こせ。」といった水は入荷するんだ。をつめよる
人もいたそうです。東日本大震災で、びち	くしてた人たちは、	「水がもつとも役に立った。」	と、言う回答が一番多かったとのことでした。	しん災以こう日じよう生活における災害の

そなえとして、ペットボトルの水をびぢくしている、と言う答えがもつとも多かつたようです。また、ヤットポトルだけではなく、ふだん使用する水として、顔を洗ったり、トイレの水として使うために、つねにお風呂に、水をはっておくなどのそなえもしておかなければならないと、言うことも分かりました。

お風呂の残り湯を流さずに、ためておくと言う習かんを持つ人たちが、関西地区にはたくさんいるようです。それは、二十一年前に起きたはん神あわじ大しん災の経験がいかされていゝることでした。

このように、しん災によつて分かつたことは、水は決して当たり前ではないのだということ、水のある生活に感しやしなくては、いけないのだと思ひました。いつ、私たちにもしん災が起こるか分からない今、私たちにできることは、何かと考えたら、水を大切に使うことや、水のたくわえなど、そのじたいにそなえてのさい低限のじゅんじゆすることには大

切なんだとあらためて実感しました。これからは、もつと水を大切にし、節水をするなど私にできることは、少しでも多くなつていこうと思ひます。

大切な水

一箕小 四年 田崎 妃乃

「大変なことになってるね。」

「これい上ひどくならないといいね。」

朝、起きると父と母がテレビを見ながら、真剣な顔で話をしていた。何があつたのかとテレビをのぞきこむと、地しんがあつたことが分かつた。

「妃乃、東日本大しんさいの時みたいだね、大きな地しんかくま本であつたんだよ。」

「大じょうぶなの？」

「まだよく分からない。ひどくないといいね。」

「水は出ているのかな。赤ちゃんがいる人は、ミルクはあるのかな。」

母が、とても気にしていた。

私は、ようち園の時に南相馬市で東日本大しんさいをけいけんした。地しんが起きた次の日の朝、水道のじゃ口をひねると、茶色い水が出てきてびっくりました。

「水が変だから、飲んでではダメだよ。」

母にそう言われて、こまったことを思い出した。それは、水も飲めないし、ごはんもたけないから、お店に家族で水を買に行つたことだ。

お店には買物に来た人が百人くらいならんでいた。お店はくすねる心配があるからと中には入れず、外に長い列を作つていた。へびのように長い列で、ようちえんせいだった私は、

「行列だ、行列だ、へびへび。」

とさわいた。その日は、とても天気がよく、ほらびなかり、

「あついよ、のどがかわいたよ。」

と何度も何度も言つて、父や母をこまらせた母は、

「たぶんもう少しだから、がんばろう。」

と言つた。

やつと、水を買えただけど、三本しか買えなかつたから、家族で分け合つて、少しづつ少しづつ飲んだ。のどがかわいているのに、ゴ

クワフと水を飲めなくて、つらかった。
会津のおばあちゃんの家に来るまで、とて
もとても大変だったことを今でもよくおぼえ
ている。

じゃ、口をひねれば、当たり前にきれいな水
が出てくることは、当たり前ではなくなっ
た日だった。

学校から帰ってくると、まだ母は、テレビ
を見ていた。

「妃乃、見て、買い物するのにや、ぱり行列
しているよ。大変だね。」

と言った。私は、むねがいたくなっ
た。

私は、手をあらうのに、せん面所にむか
た。じゃ、口をひねったら、いきおいよくきれ
いな水が出てきた。

「お母さん、くま本の人に、この水がすぐ
とどけられたらいいのね。」

「本当だね。それができたら一番いいのね
と母も言った。」

自分がけいけんしたことや、今回のくま本

の地しんを見て、あらためて水が大切だと感
じた。きれいな水がいつでも飲めたり、使え
たりすることに感謝して、これからも大事
につかっていたい。

審査講評

熊本地震にふれ、自分の生活と関わらせて改めて水の大切さや節水について考えを表現した作品が多くみられました。

自分で調べたことを分かりやすく表現した作品もあり良かったのですが、自分の生活や実体験と関わらせてまとめると、より生き生きとした作品になるでしょう。

規定の字数を守って書いていたきたいのと、原稿用紙の使い方や漢字の書き方、使い方に誤りがみられました。

〈中学校〉

〔市長賞〕

福島県立会津学鳳中学校 一年 林 洋美

呂	風	で	ま	我	出	っ	車	生	出	る	大	た	さ	は	っ	水	平	和	の	シ	ン	ボ	ル	水	道	水	
に	呂	も	ま	が	て	と	が	だ	来	の	震	な	れ	先	水	水	和	の	シ	ン	ボ	ル	水	道	水	道	水
入	場	昨	い	家	き	映	津	っ	事	だ	災	な	た	日	水	水	の	シ	ン	ボ	ル	水	道	水	道	水	
る	の	日	私	は	て	し	波	た	、	た	、	な	映	起	の	の	の	シ	ン	ボ	ル	水	道	水	道	水	
こ	タ	の	と	、	、	出	に	。	、	。	と	な	像	き	の	の	の	シ	ン	ボ	ル	水	道	水	道	水	
と	イ	様	姉	教	み	さ	飲	時	東	。	知	な	だ	た	の	の	の	シ	ン	ボ	ル	水	道	水	道	水	
が	ル	に	の	師	み	れ	み	折	日	。私	た	な	。私	は	の	の	の	シ	ン	ボ	ル	水	道	水	道	水	
で	が	思	二	で	な	、	こ	ぶ	本	は	か	な	は	と	の	の	の	シ	ン	ボ	ル	水	道	水	道	水	
き	は	い	人	あ	が	余	ま	く	大	当	ら	な	と	も	の	の	の	シ	ン	ボ	ル	水	道	水	道	水	
、	は	出	で	る	パ	震	れ	寒	震	時	。私	な	し	し	の	の	の	シ	ン	ボ	ル	水	道	水	道	水	
祖	が	さ	恐	両	ニ	残	て	い	。私	は	。私	な	し	し	の	の	の	シ	ン	ボ	ル	水	道	水	道	水	
父	は	れ	怖	親	ッ	る	い	日	。私	は	。私	な	し	し	の	の	の	シ	ン	ボ	ル	水	道	水	道	水	
母	が	落	中	は	ク	中	く	で	。私	は	。私	な	し	し	の	の	の	シ	ン	ボ	ル	水	道	水	道	水	
の	は	ち	に	職	な	原	多	、	。私	は	。私	な	し	し	の	の	の	シ	ン	ボ	ル	水	道	水	道	水	
家	は	、	いた	場	っ	発	の	多	。私	は	。私	な	し	し	の	の	の	シ	ン	ボ	ル	水	道	水	道	水	
で	は	私	の	へ	て	の	問	の	。私	は	。私	な	し	し	の	の	の	シ	ン	ボ	ル	水	道	水	道	水	
入	は	の	家	行	い	題	が	家	。私	は	。私	な	し	し	の	の	の	シ	ン	ボ	ル	水	道	水	道	水	
浴	お	は	で	っ	た	が	一	や	。私	は	。私	な	し	し	の	の	の	シ	ン	ボ	ル	水	道	水	道	水	
さ	風	、	は	し	。私	が	日	や	。私	は	。私	な	し	し	の	の	の	シ	ン	ボ	ル	水	道	水	道	水	

せてもらうことになった。いつもは自分の好きな時間にお風呂に入ったり遊んだりし、お風呂は楽しい場所だった。しかし、祖父母の家でお風呂に入るようになってからは余震の心配もあり、遊んだりゆっくり自分の好きな時間に入浴することができなくなった。少し普段と違う生活をするだけでも、とても苦痛に感じた。しかし映像に映し出される多くの避難をされている方のことを考えると、水道の蛇口からきれいな水が出、お風呂に入るこ

とができ、飲み水にも困っていない私はずい分恵まれていると感じ、がまんすることができた。私の家のお風呂は一週間で修復したが、被災地の人達の生活は一週間が過ぎても、二週間が過ぎても、そして一ヶ月が過ぎても状況が変わることがなかった。

大地震が起きてしばらくした頃、母の友人から二箱のペットボトルの水の箱が届いた。水を手に入れることができない人達の映像が全国に流れたからだろう。母の徳島や横浜に

住む友人は、テレビに映し出された人々に、母の姿を重ね合わせたのだろう。私たちの町、会津若松市は大きな被害はなかったが、日々映像で映し出される光景には、私も心が痛み、（ここには送られてきた二箱の水の入った箱があるのに）一箱を見つめながら自分には何もできないことがとても残念で、いつまでも私の頭の片すみに残っていた。こんなことが、一水」という一文字を見て次々に思い出されてきた。

今、私たちは水道の蛇口をひねるとすぐに水が出て、おいしい水を飲むことができる。温かいお風呂にもゆったりと入ることもできる。震災当時入ることもできなかったプールにも入ることができるよう。年月と共に、水の大切さを忘れていた。いつの間にか、水はあつて当たり前前の生活にもどっていた。平和な生活がもどってくると、水道水の大切さもいつの間にか生活の一部になり感じられなくなっていた。

今回の熊本地震で私の心の中に残っていたあの時の思いがふつふつとわき上がってきた。(何かしなければ。今度こそ私ができることをしよう) タンク車から飲み水をもらう人の列。臨時のお風呂場。水を手にした人達は誰もが笑顔になっていた。水はみんなを笑顔にしてくれる魔法の力がある。私も笑顔を届ける一員になりたい。そんな思いを母に話すと母も熊本に住む友人を気づかせており、私たちは水を二箱送ることにした。この水を、きれいな水道水が出るまで役立ててほしいという思いからだ。被災地の方々の本当の笑顔が見られるのは、自宅でおいしい水を飲んだり、ゆったりお風呂に入ったりできた時だろう。水道水は平和のシンボル。水道水はみんなの生活を支え、みんなを笑顔にしてくれることを、今回の地震であらためて知らされた。平和な時ほど、蛇口から出てくる水道水の大切さを感じながら生活していきたいと、強く思った。

【議長賞】

会津若松市立第五中学校 三年 柳村 真那

今日、水にたいしてもう一度考える。若松五中 三年 柳村 真那。東日本大震災から五年が経ち、震災時の不便だった生活の記憶が薄れてきた今年、熊本の大地震が起きた。母の友達も熊本にいた。地震後すぐには母は母の友達もいない。状況を確認したところ、無事だった。短い返信が届き、母はほっとした。翌日電話を掛けた状況も聞いた。住んでいるアパルトハウスの電気も水道も止まらなかった。道の水がだんだん濁り、水を飲むのは大変だった。水道水がなくなるまで役立ててほしいという思いからだ。被災地の本当の笑顔が見られるのは、自宅でおいしい水を飲んだり、ゆったりお風呂に入ったりできた時だろう。水道水は平和のシンボル。水道水はみんなの生活を支え、みんなを笑顔にしてくれることを、今回の地震であらためて知らされた。平和な時ほど、蛇口から出てくる水道水の大切さを感じながら生活していきたいと、強く思った。

の	び	起	な	口	ハ	酸	鉄	れ	う	ま	す	道	あ	ワ	水	い	い	し	と
び	の	ニ	レ	ハ	水	化	面	た	と	ま	す	管	リ	住	ハ	と	と	た	選
し	濁	、	に	カ	道	さ	な	古	破	ま	そ	と	マ	ん	ハ	人	水	難	
う	っ	た	よ	ラ	水	せ	の	い	損	し	の	破	ま	び	ハ	ハ	自	所	
		時	、	出	と	て	塩	水	し	た	母	損	。側	い	ハ	由	い	に	
祖	母	な	レ	米	混	さ	素	道	た	水	の	せ	溝	近	ハ	に	る	人	
の	家	に	水	た	ざ	か	を	管	水	道	家	し	工	く	ハ	チ	ハ	言	
の	家	に	道	と	リ	し	含	ど	道	の	の	事	事	の	ハ	に	ハ	、	
水	は	生	管	の	イ	と	ん	、	昭	水	水	の	の	町	ハ	ハ	ハ	、	
は	盟	ず	中	事	水	祭	だ	そ	和	道	道	時	の	ど	ハ	ハ	ハ	、	
日	以	と	で	の	濁	生	水	の	四	水	か	に	重	水	ハ	ハ	ハ	、	
降	に	の	水	流	、	さ	道	古	年	も	ら	重	機	道	ハ	ハ	ハ	、	
は	濁	事	の	れ	た	せ	水	い	以	濁	だ	機	破	管	ハ	ハ	ハ	、	
		す	事	に	水	、	に	水	前	、	誤	誤	損	破	ハ	ハ	ハ	、	
		態	比	変	突	、	よ	道	に	ハ	と	、	の	破	ハ	ハ	ハ	、	
		本	化	化	発	、	リ	管	作	ハ	と	、	事	破	ハ	ハ	ハ	、	
			ハ	漏	的	、	鉄	の	ら	ハ	と	、	故	破	ハ	ハ	ハ	、	
				水	な	、	面	内		ハ	と	、	が	破	ハ	ハ	ハ	、	
							と	側		ハ	と	、		破	ハ	ハ	ハ	、	
								は		ハ	と	、		破	ハ	ハ	ハ	、	

な	ど	調	私	い	の	浄	恵	め	事	要	の	地	態	と	の	、	は	リ
地	の	心	の	、	浄	化	ま	ろ	び	加	原	下	本	私	ハ	ど	数	は
震	水	を	住	と	化	設	れ	の	ず	な	水	水	は	ハ	う	日	は	
で	道	了	む	い	が	備	た	ど	水	い	だ	泉	調	ハ	し	経	は	
モ	施	る	会	い	進	ハ	水	す	事	の	と	全	ヤ	ハ	態	、	リ	
水	設	と	津	う	ま	十	事	ハ	情	事	い	国	を	ハ	本	ハ	ハ	
と	の	、	若	事	ず	分	が	ら	が	ハ	な	ど	珍	ハ	の	ハ	ハ	
作	耐	浄	松	に	い	に	裏	。た	ハ	ハ	の	し	し	ハ	水	ハ	ハ	
り	震	水	市	な	っ	て	目	だ	。今	ハ	ハ	い	思	ハ	道	ハ	ハ	
統	化	場	は	た	ま	い	に	。今	回	ハ	ハ	ハ	ま	ハ	の	ハ	ハ	
け	と	、	ど	う	で	な	出	。回	の	ハ	ハ	ハ	し	ハ	水	ハ	ハ	
ら	進	配	う	う	も	い	と	。震	災	ハ	ハ	ハ	ハ	の	ハ	ハ	ハ	
れ	め	水	の	で	水	為	し	。災	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	
る	い	池	ど	す	道	に	ま	。ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	
地	と	ヤ	し		の	ハ	ま	。ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	
震	、	ホ	ハ		ハ	濁	ま	。ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	
に	大	ニ	ハ		ハ	リ	し	。ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	
強	規	ガ	ハ		ハ	水	た	。ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	
い	模	場	ハ		ハ	飲	ハ	。ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	
水		な	ハ		ハ	め	ハ	。ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	

出	口	ホ	し	し	衛	し	米		い	天	水	項	射	検		路	水	石	道
采	を	ト	た	に	生	て	る		け	元	を	目	性	査		と	の	い	施
ま	開	ル	事	し	磨	水	事		な	て	日	検	物		整	解	水	施	
す	め	九	に	した	く	を	事		い	く	々	査	質	各	備	消	道	設	
あ	る	本	な	た	と	汚	そ		い	れ	飲	ば	査	浄	し	に	管	を	
と	だ	分	り	場	き	さ	れ		思	ろ	ぶ	私	会	水	い	よ	の	構	
家	け	と	ま	合	に	な	ほ		い	人	こ	達	率	場	く	る	取	築	
庭	ど	は	す	、	水	い	水		ま	達	と	が	若	の	と	水	リ	し	
か	使	大	。ニ	約	道	よ	無		す	バ	が	松	市	水	あ	質	替	て	
ら	う	変	リ	ハ	の	う	駄		。す	い	出	が	が	質	り	改	え	い	
出	水	な	ッ	リ	水	に	使		。事	る	来	安	独	の	ま	善	工	る	
す	の	量	ト	ッ	三	す	い		。為	の	る	心	自	監	し	や	事	と	
排	量	す	ル	ッ	分	る	と		私	は	ほ	心	で	視	た	地	行	知	
水	は	二	の	水	間	事	止		達	こ	こ	な	行	や	に	震	う	り	
に	減	ま	ハ	を	流	だ	わ		に	の	の	お	う	水	強	い	事	ま	
注	ら	め	ッ	無	し	思	る		出	ま	う	い	行	道	い	水	で	。た	
意	す	に	ト	駄	。ば	ま	事		は	は	に	し	水	の	水	道	濁	。また	
す	事	蛇		に	な	す	と		。は	は	に	い	質	故	質	管	リ	。また	
る	バ					す	と												

										と	水	る	な	い	フ		か	い	事
										改	を	事	く	う	バ		出	よ	が
										め	次	キ	て	事	モ	米	う	み	大
										て	の	し	は	に	水	ま	に	残	切
										強	世	と	け	気	が	す	心	の	ど
										く	代	環	付	あ	ハ		掛	牛	す
										思	入	境	き	る	水		け	乳	。使
										い	残	を	と	事	に	る	な	ど	い
										ま	し	守	思	が	フ	二	と	を	終
										し	て	る	い	当	い	と	ど	そ	わ
										。仁	い	事	ま	た	考	水	の	の	。た
											ハ	ど	。今	え	汚	汚	ま	ま	油
											く	二	あ	節	れ	れ	ま	排	や
											て	の	る	水	を	防	ま	水	食
											ハ	お	水	防	ぐ	事	に	残	バ
											い	い	と	守	事		流	し	残
											い	い	守	水			さ	。バ	し
											い	守	水				谷	。バ	し

〔管理者賞〕

会津若松市立第二中学校 一年 小林 俊翔

水の大切さについて

若松二中 一年 小林 俊翔

「水の大切さについて考えたことかあるか。このような質問をされたらどう答えるだろうか。ほとんどの人たちは、「考えたことかない」と答えるだろう。つまり、水などどこにでもあふりだかり、考える重要性はないと人間のほとんどは、思っていることになる。しかし、本当に水の大切さについて人間は、考えなくてよいのだろうか。」

今は、水道のじゃ口を回せば、キレイな水が出てくる。このことか、普通と違って、日本人が、いることか私は、おそろぎた。それは、国によって、水道というとても便利な物かまたない国かある。そのような国の人間たちは、わざわざ川まで水を取りに行かなければならぬ。それに、自然の川の水のためあまりキレイとは言えない。つまり、水道のじゃ口を回せば、キレイな水が出てくるのは普通ではないということか第一に理解してほ

しい。また、水がなければ、米や野菜など、植物は、とうなるだろう。それは、もちろん水がないのたかり生きて行くことかできない。つまり、食べる物かなくなり、人間も生きて行くことかできなくな。てしまう。それに、人間の六十パーセントは、水でつくられて、いる。

「日本は、水にとてもめぐまれているのたかり水なんて大切じゃない」と思っている人も中にはいるだろう。しかし、干ばつによつて

水の量か少なくなり、水道から水か出なくなつたとき、水道水のようなキレイな水てはない。川の水か湖のあまりキレイとは言えない水を飲んで生活して行くかない。つまり、日本は、水にとてもめぐまれているのたかり水なんて大切じゃない」という考え方は、絶対にしては、いけない。

日本人の中には、「水道水は、おいしくないから飲みたくない」と言っている人がよくいる。このような考えか方を持って、いる人た

は、水の大切さところぢ、自分たちから、それを
けキレイな水を飲んで、いることを、理解して
いない人たちがた。それは、世界には、干ばつ
などによつて、水たまりのような場所から取
つて来た、水をろ過もせずにそのまま飲んで
いる人たちがいる。つまり、水道水というろ
過されて、いるところもキレイな水を飲むことの
できて、いる自分たちは、とても幸せであり、
健康で、いられるのも、そのおかげなのだと理解
してほしいと思ふ。

地しんやかん人などで、水道水が使えなく
なつたとき、初めて人間は、水の大切さにつ
いて知るそうた。

水道というとても便利なものが出てきたら、
水が歩いて川に取りに行かなくてもよくなつ
たため、より手に入りやすくなつた。そのた
め、水を大切にしない人たちが増えている。
だからこそ、一年に一度は、絶対に水の大切
さと水道水のありかたみについてかならず知
つてほしいと思ふ。また、日本には、水道と

いうとても便利な物があるのだから、それを
大切に侍つて、いかなければいけない。
外国では、干ばつなどによつて水を手に入
らば、大変な思いをして、いる人たちがいま
自分たちも水は、大切に使うために水を出し
たままにすることや、使った水をそのまま川
へ流すことは、絶対にやめるべきだと思つて
いる。また、切水のために、血やコシフなど
を流すときは、いろいろな紙などでよこれを取
つてから水で流すように思ひかけてみたらどう

だろうが。

■ 審査講評

中学生は中体連大会など部活動が最も盛んな時期でもあり、出品数は少ないですが、昨年より増加したことは大変好ましいことです。

水への関心の高さと、諸災害による被災地の映像などから、日頃は全く当然と思われる水のありがたさ、水道の大切さを実感している作品がみられました。

◆審査員

○ 図画の部…会津若松市立謹教小学校	結城 克徳 先生
会津若松市立第三中学校	伊東 奏美 先生
水彩連盟会津支部	森田 慶一 先生
○ 書写の部…会津若松市立松長小学校	佐藤 肇子 先生
会津若松市立河東中学校	佐藤 寿広 先生
会津書作家協会	山内 翠雲 先生
○ 標語の部…会津若松市立行仁小学校	二瓶 純子 先生
会津若松市立一箕中学校	高笠 トシ子 先生
あいづ川柳会	佐瀬 昌柳 先生
会津詩人協会	福西 トモ子 先生
○ 作文の部…会津若松市立東山小学校	森 里香 先生
会津若松市立第四中学校	佐々木 淳一 先生
会津史学会	栗城 好次 先生

◆入賞者表彰式

日時 平成28年6月3日(金) 午後4時から
場所 会津若松市生涯学習総合センター 會津稽古堂

★おわりに★

ここに掲載されている作品は、水道部のホームページでもご覧いただけます。

他に、優秀賞(各5点)、佳作(各10点)も含めた全ての入賞作品が全国展に送られ、審査されます。

みなさんからのたくさんのご応募、ありがとうございます。来年も多くの作品をお待ちしております。

第58回水道週間児童生徒作品展入賞作品集

平成 28 年 6 月 発行

発行 会津若松市水道部

編集 水道部総務課

〒965-0064 福島県会津若松市神指町大字黒川字石上33-2

TEL (0242) 22-6073 / FAX (0242) 22-6173

<http://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/bunya/suido/>